

(1) 3年ぶりの開催

前回	2019年 8月7日～8日	熊本県熊本市	新たな未来の創造 ～KYUSHUから起こす波～	120名
今回	2022年 8月4日～5日	沖縄県那覇市	新たな価値をともに創る KYUSHUを目指して ～ニューノーマル時代の豊かさとは～	98名
次回	2023年	大分県		



(2) 九州の産学官トップリーダーで議論

- 8月4日(木) 13:30～13:45 ◆ 開会式
 13:45～15:00 ◆ 基調講演「**日本が目指すデジタル社会**」 牧島かれん氏
 (当時:デジタル大臣、行政改革担当大臣、内閣府特命担当大臣/規制改革)
 15:30～18:00 ◆ **4つの分科会**
 18:15～ ◆ 名刺・意見交換
- 8月5日(金) 9:00～10:30 ◆ **全体会議**
 10:40～12:30 ◆ 産業行政視察



(3) 分科会の討議結果

分科会	テーマ	座長	分科会としてのまとめ
第1分科会 (幹事:長崎県)	行政と民間・経済界の 連携による 移住・関係人口 の促進	山口純哉 氏 長崎大学経済学部 准教授	<ul style="list-style-type: none"> ● 関係人口の拡大には、行政など受け入れ側の取組(まちづくり)はもとより、企業による多様な働き方の実践もポイント。その入り口として、ワーケーションという新しい働き方がある。 ● Well-Beingや新しい価値創造などに重点が置かれるニューノーマル時代において、人が集まる仕組みづくり「コミュニティ」が、地域の豊かさはかる重要なキーワード。
第2分科会 (幹事:熊本県)	新しい シリコンアイランド 九州の創造	岩上 徹 氏 九州半導体・エレクトロ ニクスイノベーション 協議会 会長	<ul style="list-style-type: none"> ● 全国レベルのノウハウを活用した人材育成力の向上が重要。「九州半導体人材育成等コンソーシアム」に、日本トップクラスの大学が参画するよう、産学官が一体となって取組む。 ● TSMCの進出は、九州経済にとってまたとないチャンスであり、産業クラスター形成や人材育成など、九州各県の取組を有機的につなげることで、その効果を高めたい。
第3分科会 (幹事:九同友)	新しい資本主義 を考える ～成長と分配の 好循環の実現～	青柳俊彦 氏 九州経済同友会 代表委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 経済・賃金の低迷からの脱却には、DX/デジタル化による生産性向上が必要。貧困・格差の解消には教育が課題。特に若者が教育の機会を失うことがないようにすべき。 ● DX推進と人への投資を同時に進める。新しい資本主義とは、ある意味、相反するものをクリアしていくことであり、産学官が知恵を絞り、さらなる連携が必要。
第4分科会 (幹事:九経連)	心の豊かさを成長につなぐ “幸せコミュニティ” の実現	池内比呂子 氏 九経連理事・ダイバー シティ「幸せコミュニティ」 推進委員会 副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 人材を惹きつけ、心の豊かさ/Well-Beingを九州の発展に繋げるには、九州のポテンシャルを活かし、暮らしやすく、幸せを享受できるコミュニティを実現することが不可欠。 ● そのためのオール九州の具体的な取り組みとして、「女性活躍を中心としたダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン」の取組や、九州版デジタル田園都市国家構想となる「スマートリージョン構想」を推進すべき。

全体総括

- ① 九州全体での戦略的なシリコンアイランド創造(クラスター、教育・人材育成)
- ② 関係人口増につながる九州ならではのコミュニティづくり
- ③ そのためのデジタル基盤整備(データ活用を含む生産性向上、データ連携基盤)